# 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日


上場会社名　日本車輌製造株式会社　　上場取引所　東 名
コード番号　7102　URL　http://www.n-sharyo.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 中川　彰
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長　(氏名) 新美　憲一　TEL 052-882-3316

四半期報告書提出予定日　平成24年2月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 60,201 | △13.0 | 4,593 | △20.0 | 4,664 | △18.5 | 3,559 | 10.9 |
| 23年3月期第3四半期 | 69,186 | △1.1 | 5,743 | 19.4 | 5,723 | 20.4 | 3,210 | 21.9 |

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　3,531百万円　(40.9%)　23年3月期第3四半期　2,506百万円　(―%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第3四半期 | 24.64 | ― |
| 23年3月期第3四半期 | 22.22 | ― |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 116,889 | 52,603 | 45.0 |
| 23年3月期 | 110,036 | 49,666 | 45.1 |

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　52,553百万円　23年3月期　49,585百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | ― | 2.50 | ― | 2.50 | 5.00 |
| 24年3月期 | ― | 2.50 | ― | | |
| 24年3月期(予想) | | | | 2.50 | 5.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 84,000 | △11.4 | 5,600 | △28.8 | 5,600 | △28.7 | 3,700 | △0.1 | 25.62 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)
詳細は、添付資料P.3「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期3Q | 146,750,129 株 | 23年3月期 | 146,750,129 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期3Q | 2,331,625 株 | 23年3月期 | 2,306,756 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期3Q | 144,429,215 株 | 23年3月期3Q | 144,465,184 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は、四半期決算短信【添付資料】P.3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（参考）個別業績予想

平成 24 年 3 月期の個別業績予想（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 81,000 | △12.7 | 5,800 | △25.2 | 3,800 | 3.0 | 26.31 |

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無 ： 有

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
４．補足情報 …… 10
（１）生産、受注及び販売の状況 …… 10

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の影響が残る中、設備投資などに緩やかな回復が見られますが、欧州の債務問題などを背景とした海外経済の減速や円高の影響により、持ち直しの動きに滞りが見られます。

このような経営環境のもと、当第３四半期連結累計期間の当社グループの売上は、Ｎ７００系新幹線電車の売上などがありましたが、鉄道車両および鉄構の売上が減少したことなどにより、前年同四半期比１３．０％減少の６０２億１百万円となりました。利益面につきましては、過去最高益であった前年同四半期に比べ、営業利益は２０．０％減少の４５億９３百万円、経常利益は１８．５％減少の４６億６４百万円、四半期純利益は１０．９％増加の３５億５９百万円となりました。

セグメント別状況は以下のとおりであります。

①鉄道車両事業

ＪＲ東海向けＮ７００系新幹線電車の納入が順調に続いたほか、ＪＲ西日本向けＮ７００系新幹線電車、ＪＲ東海向け電車、東京メトロ銀座線電車などを納入しましたが、公営・民営鉄道向け車両などが減少したため、売上高は３０６億８５百万円と前年同四半期比１９．２％減少となりました。

②輸送用機器・鉄構事業

輸送用機器におきましては、コンテナ貨車、タンク貨車、無人搬送車などでまとまった売上があったほか、ＬＰＧタンクローリなどの売上があり、売上高は６９億８４百万円と前年同四半期比２１．７％増加となりました。

鉄構におきましては、工事進行基準案件として、北海道開発局向け新御料橋、中部地方整備局向け堀越西高架橋、馬瀬高架橋、藁科川橋などのほか、架設工事として東静岡南北幹線跨線橋、佐脇跨線橋などの売上があり、売上高は４６億２３百万円となりましたが、前年同四半期は大型の工事完成基準案件の売上があったため、前年同四半期比５４．０％減少しました。

以上の結果、輸送用機器・鉄構事業の売上高は１１６億８百万円と前年同四半期比２６．４％減少となりました。

③建設機械事業

建設機械におきましては、全回転チュービング装置や小規模住宅建設用の小型杭打機などの堅調な国内需要に加え、アジアを中心とした杭打機などの海外需要がありました。発電機につきましては、東日本大震災の影響および電力不足の懸念などによる需要があり、売上が増加しました。

以上の結果、建設機械事業の売上高は１１５億３５百万円と前年同四半期比１４．５％増加となりました。

④その他

ＪＲ東海向けリニア用機械設備や車両検修設備、搬送設備、各地のＪＡ向け営農プラントの改修工事および家庭紙メーカー向け製紙関連設備などの売上のほか、ゴルフ場収入、鉄道グッズ販売などがあり、売上高は６３億７３百万円と前年同四半期比１８．８％増加となりました。

### （２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産

流動資産は前連結会計年度末比１１．１％増加し６８５億２１百万円となりました。これは主として、橋梁工事を中心に新規受注案件の棚卸資産が増加したことや、親会社に対するＣＭＳ（キャッシュ・マネジメント・システム）による短期貸付金が増加したことによるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べ０．１％増加し４８３億６７百万円となりました。これは主として、第１四半期連結会計期間より連結の範囲に含めた米国子会社における鉄道車両組立工場建設に伴い、有形固定資産が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末比６．２％増加し１，１６８億８９百万円となりました。

②負債

流動負債は前連結会計年度末比４０．３％増加し５２０億２３百万円となりました。これは主として、第１四半期連結会計期間より連結の範囲に含めた米国子会社において、鉄道車両に係る前受金が増加したことや、一年内償還予定の社債を固定負債より振替えたことによるものであります。固定負債は前連結会計年度末比４７．４％減少し１２２億６１百万円となりました。これは主として、一年内償還予定の社債を流動負債に振替えたことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比６．５％増加し６４２億８５百万円となりました。

③純資産

純資産合計額は前連結会計年度末比５．９％増加し５２６億３百万円となりました。これは主として、当四半期純利益による利益剰余金の増加によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期（平成23年４月１日～平成24年３月31日）の連結業績予想につきましては、前回発表（平成23年10月28日）の通期の予想値を以下のとおり修正することといたしました。

当第３四半期連結会計期間に投資有価証券売却益を計上したことなどにより、当期純利益の見直しを行っております。

［平成24年３月期 通期（平成23年４月１日～平成24年３月31日）連結業績予想］

（単位：百万円 %）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|---|---|---|---|---|
| 前回発表予想 | 84,000 | 5,600 | 5,600 | 3,100 |
| 今回修正予想 | 84,000 | 5,600 | 5,600 | 3,700 |
| 増減額 | － | － | － | 600 |
| 増減率（%） | － | － | － | 19.4 |
| ご参考　前期実績（平成23年３月期） | 94,842 | 7,864 | 7,858 | 3,703 |

（参考）

［平成24年３月期 通期（平成23年４月１日～平成24年３月31日）個別業績予想］

（単位：百万円 %）

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|---|---|---|---|
| 前回発表予想 | 81,000 | 5,800 | 3,300 |
| 今回修正予想 | 81,000 | 5,800 | 3,800 |
| 増減額 | － | － | 500 |
| 増減率（%） | － | － | 15.2 |

## ２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第１四半期連結会計期間より、NIPPON SHARYO U.S.A.,INC.ならびに同社傘下のNIPPON SHARYO MANUFACTURING, LLCおよびNIPPON SHARYO ENGINEERING & MARKETING, LLCは重要性が増加したため、連結の範囲に含めております。

## ３．四半期連結財務諸表

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第３四半期連結会計期間<br>（平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,147 | 4,325 |
| 受取手形及び売掛金 | 22,125 | 16,681 |
| 商品及び製品 | 1,934 | 2,235 |
| 半製品 | 1,213 | 1,216 |
| 仕掛品 | 21,325 | 23,668 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,222 | 1,385 |
| 短期貸付金 | 9,374 | 15,267 |
| その他 | 2,442 | 3,785 |
| 貸倒引当金 | △87 | △44 |
| 流動資産合計 | 61,697 | 68,521 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 16,728 | 17,107 |
| その他（純額） | 14,327 | 15,055 |
| 有形固定資産合計 | 31,055 | 32,162 |
| 無形固定資産 | 377 | 412 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 13,268 | 12,545 |
| その他 | 3,682 | 3,314 |
| 貸倒引当金 | △45 | △67 |
| 投資その他の資産合計 | 16,905 | 15,792 |
| 固定資産合計 | 48,338 | 48,367 |
| 資産合計 | 110,036 | 116,889 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 17,604 | 7,501 |
| 電子記録債務 | － | 10,125 |
| 短期借入金 | 470 | 470 |
| 未払法人税等 | 2,192 | 601 |
| 前受金 | 8,564 | 17,181 |
| 賞与引当金 | 1,687 | 829 |
| 工事損失引当金 | 9 | 30 |
| 受注損失引当金 | － | 156 |
| その他 | 6,540 | 15,126 |
| 流動負債合計 | 37,069 | 52,023 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 10,000 | － |
| 長期借入金 | 87 | 75 |
| 引当金 | 625 | 692 |
| その他 | 12,587 | 11,494 |
| 固定負債合計 | 23,300 | 12,261 |
| 負債合計 | 60,369 | 64,285 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第３四半期連結会計期間<br>（平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 11,810 | 11,810 |
| 資本剰余金 | 12,045 | 12,045 |
| 利益剰余金 | 23,908 | 26,919 |
| 自己株式 | △479 | △488 |
| 株主資本合計 | 47,285 | 50,287 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,303 | 2,428 |
| 繰延ヘッジ損益 | △3 | △78 |
| 為替換算調整勘定 | － | △83 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,300 | 2,266 |
| 少数株主持分 | 80 | 50 |
| 純資産合計 | 49,666 | 52,603 |
| 負債純資産合計 | 110,036 | 116,889 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 69,186 | 60,201 |
| 売上原価 | 58,929 | 50,947 |
| 売上総利益 | 10,257 | 9,253 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,513 | 4,660 |
| 営業利益 | 5,743 | 4,593 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 22 | 29 |
| 受取配当金 | 215 | 225 |
| 持分法による投資利益 | 12 | 11 |
| その他 | 73 | 84 |
| 営業外収益合計 | 323 | 351 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 209 | 136 |
| その他 | 134 | 143 |
| 営業外費用合計 | 344 | 280 |
| 経常利益 | 5,723 | 4,664 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 10 |
| 投資有価証券売却益 | 0 | 1,016 |
| 貸倒引当金戻入額 | 41 | － |
| 受取和解金 | 71 | － |
| 投資有価証券割当益 | 73 | － |
| 特別利益合計 | 187 | 1,026 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 191 | 83 |
| 減損損失 | 7 | 4 |
| 投資有価証券売却損 | 2 | － |
| 投資有価証券評価損 | 191 | 343 |
| ゴルフ会員権評価損 | 4 | － |
| 環境対策引当金繰入額 | 96 | － |
| 特別損失合計 | 493 | 431 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,416 | 5,259 |
| 法人税等 | 2,204 | 1,694 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 3,211 | 3,565 |
| 少数株主利益 | 1 | 6 |
| 四半期純利益 | 3,210 | 3,559 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 3,211 | 3,565 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △700 | 124 |
| 繰延ヘッジ損益 | △4 | △75 |
| 為替換算調整勘定 | － | △83 |
| その他の包括利益合計 | △704 | △33 |
| 四半期包括利益 | 2,506 | 3,531 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,505 | 3,525 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 1 | 6 |

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成22年４月１日　至平成22年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他（注）１ | 合計 | 調整額（注）２ | 四半期連結損益計算書計上額（注）３ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 鉄道車両事業 | 輸送用機器・鉄構事業 | 建設機械事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 37,969 | 15,779 | 10,074 | 5,363 | 69,186 | － | 69,186 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 83 | － | 95 | 424 | 602 | △602 | － |
| 計 | 38,052 | 15,779 | 10,169 | 5,787 | 69,789 | △602 | 69,186 |
| セグメント利益又は損失（△） | 5,039 | 402 | 1,023 | △78 | 6,386 | △642 | 5,743 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、車両検修設備、営農プラント、製紙関連設備などの製造・販売、鋳鍛製品の製造・販売、不動産賃貸、ゴルフ場経営などを含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額には、全社費用△689百万円、セグメント間取引消去56百万円および棚卸資産の調整額△17百万円などが含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他（注）1 | 合計 | 調整額（注）2 | 四半期連結損益計算書計上額（注）3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 鉄道車両事業 | 輸送用機器・鉄構事業 | 建設機械事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 30,685 | 11,608 | 11,535 | 6,373 | 60,201 | － | 60,201 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 119 | 1 | 1 | 509 | 631 | △631 | － |
| 計 | 30,804 | 11,609 | 11,536 | 6,882 | 60,832 | △631 | 60,201 |
| セグメント利益 | 3,140 | 241 | 1,358 | 493 | 5,234 | △641 | 4,593 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、車両検修設備、営農プラント、製紙関連設備などの製造・販売、鋳鍛製品の製造・販売、不動産賃貸、ゴルフ場経営などを含んでおります。

２．セグメント利益の調整額には、全社費用△634百万円、棚卸資産の調整額△15百万円およびセグメント間取引消去7百万円などが含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## ４．補足情報

### （１）生産、受注及び販売の状況

①生産状況

| 事業区分 | 前第３四半期連結累計期間（平成22．４．１～平成22.12.31） | | 当第３四半期連結累計期間（平成23．４．1～平成23.12.31） | |
|---|---|---|---|---|
| | 金額(百万円) | 構成比(%) | 金額(百万円) | 構成比(%) |
| 鉄道車両 | 35,950 | ５７．８ | 30,879 | ５０．７ |
| 輸送用機器・鉄構 | 11,979 | １９．２ | 12,999 | ２１．３ |
| 建設機械 | 9,354 | １５．０ | 11,369 | １８．７ |
| その他 | 4,974 | ８．０ | 5,651 | ９．３ |
| 合計 | 62,259 | １００．０ | 60,899 | １００．０ |

②受注状況

| 事業区分 | | 前第３四半期連結累計期間（平成22．４．１～平成22.12.31） | | 当第３四半期連結累計期間（平成23．４．1～平成23.12.31） | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 金額(百万円) | 構成比(%) | 金額(百万円) | 構成比(%) |
| 受注高 | 鉄道車両 | 20,057 | ４３．７ | 16,048 | ３４．８ |
| | 輸送用機器・鉄構 | 10,364 | ２２．６ | 11,621 | ２５．２ |
| | 建設機械 | 9,294 | ２０．２ | 11,387 | ２４．７ |
| | その他 | 6,179 | １３．５ | 7,048 | １５．３ |
| | 合計 | 45,894 | １００．０ | 46,104 | １００．０ |
| 受注残高 | 鉄道車両 | 78,723 | ７６．８ | 130,354 | ８５．９ |
| | 輸送用機器・鉄構 | 16,976 | １６．５ | 15,150 | １０．０ |
| | 建設機械 | 2,026 | ２．０ | 1,699 | １．１ |
| | その他 | 4,800 | ４．７ | 4,548 | ３．０ |
| | 合計 | 102,526 | １００．０ | 151,752 | １００．０ |

③販売実績

| 事業区分 | 前第３四半期連結累計期間（平成22．４．１～平成22.12.31） | | 当第３四半期連結累計期間（平成23．４．1～平成23.12.31） | |
|---|---|---|---|---|
| | 金額(百万円) | 構成比(%) | 金額(百万円) | 構成比(%) |
| 鉄道車両 | 37,969<br>(283) | ５４．９ | 30,685<br>(156) | ５１．０ |
| 輸送用機器・鉄構 | 15,779<br>(—) | ２２．８ | 11,608<br>(13) | １９．３ |
| 建設機械 | 10,074<br>(1,969) | １４．６ | 11,535<br>(1,804) | １９．１ |
| その他 | 5,363<br>(1) | ７．７ | 6,373<br>(0) | １０．６ |
| 合計<br>（うち海外売上分） | 69,186<br>(2,254) | １００．０<br>（３．３） | 60,201<br>(1,974) | １００．０<br>（３．３） |

（注）第１四半期連結会計期間より、NIPPON SHARYO U.S.A.,INC.など３社を連結の範囲に含めております。